



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年7月17日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いて
これ
いい
ですか？

どう見る ウクライナ情勢

17日(日)=1、3面

ロシアがウクライナに侵攻してから間もなく5カ月が経過しますが、依然として情勢は不透明です。ウクライナでの戦局や悲惨な状況は日本で報じられていますが、中には真偽が不明な情報もある

と言われています。元外務省主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍した佐藤優さん＝写真＝は、事態をどう見ているのでしょうか。また、欧米各国はロシアへの制裁を強めています

が、日本とロシアの関係に焦点を絞った場合、日本の外交は正しい道を進んでいるのでしょうか。池上彰さんと語り合いながら、ウクライナ情勢を分析していきます。



論+ 自然保護と利用 両立へ知恵集めて

21日(木)=オピニオン面

国立公園が曲がり角に立っています。群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがる尾瀬＝写真＝は、半世紀前に「ごみ持ち帰り運動」を始めるなど日本の自然保護運動を先導してきました。しかし、近年は利用者の減少に悩まされてい

ます。全国の国立公園も同じような状況です。国立公園では、貴重な自然を守る保護活動と、だれもが利用しやすい環境整備が求められてきました。両者のバランスをどのように図るべきか。尾瀬から考えました。



有識者会議から部活動改革の提言を受け取った室伏広治スポーツ庁長官



3年内容から、主に公立
す内容から、主に公立
民間クラブなどの地域社会に
民的に活動の主体を、学校から
た。教員の働き方改革などを目
言を室伏広治長官に提言しまし
月、学校の運動部活動の改革提
スポーツ庁の有識者会議は6

部活
クライシス

試行錯誤の地域移行を追う

19日(火) 1、3面

中学校の休日の活動を対象に地域移行を進めます。ただ学校が部活が離れることには抵抗があり、地域での受け皿作りにも課題があります。「部活クライシス第2部」では、地域移行の先行事例を取り上げ、試行錯誤する各地の状況に迫ります。

特集 ワイド

自らの1票 鈍感になる有権者

19日(火)=夕刊特集ワイド



参院選は、自民党が単独で改選過半数の63議席を得て大勝しました。予想通りとはいえ、この結果は「1強多弱」政治を選んだことになります。では、本当に有権者はそれを望んでいるのでしょうか。

投票率は選挙区で52.05%と過去4番目の低さ。政治学者で日大教授の浅野一弘さん＝写真＝に聞くと、「有権者が自分の1票に対して、鈍感になっているように感じます」と語りました。

竹橋の窓辺から

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。どうぞご愛読ありがとうございます。とこ
ろで、「宅配購読者無
料プラン」への登録は
お済みですか？購読料
以外の追加料金は一切
なしで、①デジタル版
の有料記事まで読み放
題②毎月開催のオンラ
インイベント視聴が困
り③暮らしとお金の困
りごと電話相談が無料
なため登録できます
QRコードか、宅配購
読者無料プランでネッ
ト検索して登録す
録し、毎日新
聞をさらに楽し
みください
(千代崎聖史)



新毎日

150

2022年2月21日
毎日新聞創刊150年